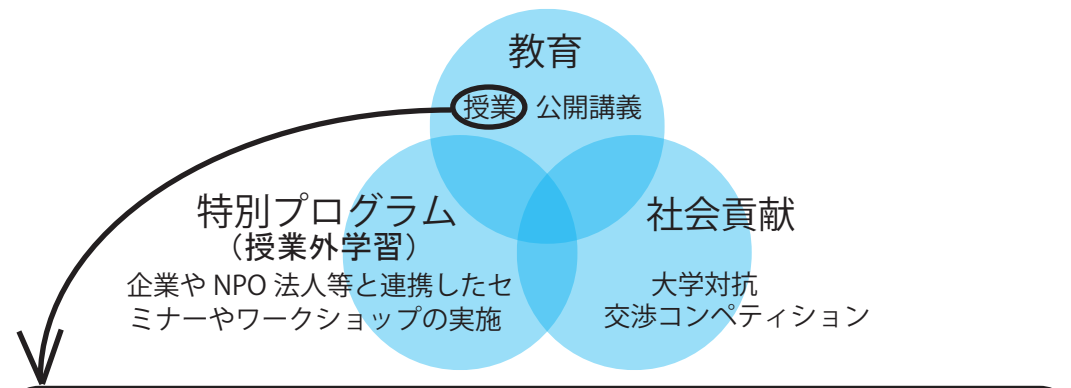


グローバルリーダーシップ・プログラム

【プログラム構成 (詳細は2, 3ページ参照)】



- 科目例**
- 1 学期：実践グローバルリーダーシップ、リーダーシップデザイン、ネゴシエーション 英語で学ぶ国際問題とリーダーシップ1
 - 2 学期：経営者と語るリーダーシップ、リーダーシップを考える、ネゴシエーション 英語で学ぶ国際問題とリーダーシップ2

【運営体制】

- グローバルリーダーシップディレクターズボード
- アドバイザー
 - 名誉アドバイザー
 - 西川善文 株式会社三井住友銀行名誉顧問 (前日本郵政代表取締役社長)
 - 鷲田清一 元大阪大学総長
- GLP 運営委員会 (学生主体)
- ROSTER (講師陣)
- 大阪大学リーダーシップ教育研究会
- パートナー
 - 株式会社パソナグループ、住友化学株式会社、住友林業株式会社、株式会社DG TAKANO
 - NPO 法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション
- アソシエート
 - レンゴー株式会社、住友金属鉱山株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、三井住友信託銀行株式会社
- 協力
 - 大阪大学 21 世紀懐徳堂

【設立趣旨】

大阪大学グローバルリーダーシップ・プログラム (GLP) は、**学生に主体的な学びの機会と場を提供する**ために、篤志家による寄付により 2007 年 4 月に設立されました。

【教育目標】

リーダーシップは首相や社長などの地位から生じるものではありません。リーダーシップの基本は、**市民一人一人が責任を持って社会的問題を解決しようとする行動**にあります。GLP は、**国境を越えた公共的課題を解決するために社会を変革するリーダーシップを備えた人材を育成**します。

【プログラムの特長】

- 本物から学ぶ** 企業経営、政治・行政や国際社会で優れたリーダーシップを実践してきた方々を講師に迎えます。
- 対話で変わる** 対話を通じて反省と気づきを繰り返し、倫理と教養に裏付けられたリーダーシップの基礎を作ります。
- アートで感じる** 音楽や演劇、文化と融合した新しい教育方法によって、鋭敏な感覚、即興力と人の心を動かす力を養います。
- やってみる** 志のある人々と学生が協働して授業を創ることでリーダーシップを学びます。

授業は、大阪大学の学生なら誰でも受講または聴講することができます。社会人や他大学の学生も、科目等履修生制度が利用できます。

連絡先

大阪大学大学院国際公共政策研究科 (GLP 事務局 / 交渉教育支援センター)
〒560 - 0043 豊中市待兼山 1 - 31 直通：06 - 6850 - 5629
(E-mail) glp@osipp.osaka-u.ac.jp/negocenter@osipp.osaka-u.ac.jp
(URL)<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/>

【大阪大学グローバルリーダーシップ・プログラムの模様】

経営者と語るリーダーシップ

阪大OBらの協力を得て、企業のトップをゲストに招き、未曾有の経済危機の中でも相互依存を強めるアジアの中で、企業としての事業戦略はどうあるべきか、グローバルな企業活動のための社会責任（GSR）とリーダーシップをいかに果たしていくかを学生と対話します。



S. Tさん（2009年度法学部卒）
この授業以外で、こんなにたくさんの企業のトップの方にお会いできる講義はありません。
毎週違う先生方のお話を伺って自分なりに比較・分析し、企業のリーダーシップとは何なのか、一瞬も逃さないように授業に参加しました。

公開講義

リーダーシップを発揮するためには、相手の心を動かすことが肝心です。それは、音楽家が聴衆を魅了することに似ています。新進気鋭の演奏者などを招いて、対話を通してリーダーシップの極意に迫ります。

K. Tさん（2013年度 大阪大学 法学部国際公共政策学科 2年）
桂文枝師匠から直々に『リーダーシップ論』を教えていただくという、貴重な経験をさせていただきました。偉大な先人落語家との出会い、上方落語協会会長としての苦労話を伺ううちに、不思議と話に引き込まれました。学生からの質問を時に巧みな笑いに変え、真摯に対応してくださる文枝師匠のお姿は、まさに『リーダー』の風格。「誰に対しても、常にやさしく。そして、人との出会いを大切に」という人情溢れるメッセージが印象に残りました。

リーダーシップを考える/実践グローバル・リーダーシップ

グローバルな社会に生きる私達が、どのようにしたらグローバルに通用するリーダーシップを会得できるかを五感を通じて明らかにしましょう。



H.Sさん（2016年度 法学部法学科3年）

本授業では、実際に社会で活躍するリーダーのお話を聞き、また自らも授業でリーダーとして行動する中で、リーダーシップとはなんなのか、その意味だけにとどまらない多くのことを学ぶことが出来ました。

またビジネスメールの書き方や司会進行など、社会で役立つ実践的なスキルも身につけました。
一緒に受講する学生の学部、学年も様々で、幅広い交流もでき、非常に充実した時間を過ごせました。



T.Yさん（2016年度 経済学部1年）

受講する以前は、リーダーシップとは難しいものであると思っていた。しかし、授業で実践していくにつれてとても身近なものであることが分かった。授業だけではなく、あらゆる機会において存在する考えであるので、より一層リーダーシップについての学びを深めようと思うに至った。授業においての、他の受講生の言動や講師の方々、先生方の教えにヒントがあると思い、リーダーシップを考える概念のようなものから実践的な生きたものとして認識を変えた。

【授業外での学習の場】

大学対抗交渉コンペティション (INC)

INCは日本の大学で世界に通用する交渉者を養成することを目標としています。

NPO 法人グローバルリーダーシップアソシエーション (GLEA)

GLEAは、公共のためにリーダーシップを発揮できる強い倫理観を持った人材を養成することを目標とします。

より詳しい情報は、<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/> でご覧いただけます。